

枚方市立禁野小学校の開校について（保護者説明会）

1. 日 時 令和3年12月26日（日） 10時から11時30分まで
2. 場 所 高陵小学校 体育館
(参加者：高陵校区45名、中宮北校区8名)
3. 内 容 枚方市立禁野小学校の開校について
4. 説明者 総合教育部兼学校教育部 高橋次長
総合教育部新しい学校推進室 山下室長、畑中課長、嶋田課長代理、
石田係長、多田主任、廣瀬主任

（事務局）

＜枚方市立禁野小学校の開校について説明会＞ のパワーポイントによる説明

「枚方市立禁野小学校の開校について」説明をさせていただきます。

今回の説明会は、令和4年4月から高陵小学校の児童、中宮北小学校の児童の皆さんが安心して禁野小学校に通っていただけますよう、保護者の皆様が子どもを不安なく学校へ送り出していただけますように、これまで、「枚方市新しい学校づくり協議会」を中心に教育委員会で協議・検討してきた内容について説明をさせていただくことを目的に、在校児童の保護者の皆様、来春入学予定の保護者の皆様にご案内をさせていただいております。

お配りしている「枚方市立禁野小学校の開校について」と同じものを、前のスクリーンに投影して説明をさせていただきますので、見やすい方をご覧ください。右下に小さいですがページ番号が入っておりますので、ご確認ください。

お配りしております、資料「枚方市立禁野小学校の開校について」の構成ですが、4つのポイントで構成しております。

一つ目が、新しい学校づくりに向けて、二つ目が、子どもたちの交流について、三つ目が、令和4年度からの禁野小学校における通学路について、四つ目が、令和4年度からの学校生活等についてとしています。

それではまず、1. 新しい学校づくりに向けてで、3ページをご覧ください。

枚方市新しい学校づくり協議会についてご説明させていただきます。

令和3年3月、教育委員会におきまして、高陵小と中宮北小の学校統合における実施方策や実施時期等を示した「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定しました。

その後、令和3年4月に、保護者、校区コミュニティ協議会、学校等の代表者からなる「枚方市新しい学校づくり協議会」が発足しまして、学校統合に関する諸課題について協議を行ってきたところです。

この「枚方市新しい学校づくり協議会」での協議事項ですが、『新しい学校に関すること』の分野で、新しい学校名、校歌の（作詞・作曲）、校章・校旗、式典関係、学校運営、

学校施設 などの協議、そして『通学路等安全・安心に関すること』の分野で、通学路、児童・保護者の不安の解消など、『地域・PTAに関すること』の分野でとして、PTAの活動、学校開放事業やいきいき活動、留守家庭児童会室などについて協議しております。

次に、新しい学校名・校章・校歌について4ページをご覧ください。

新しい学校の学校名については、両校区住民の皆さんへの公募をしまして、222件の応募をいただきました。その中から新しい学校づくり協議会委員による選出や両校児童による投票等を経て、「枚方市立禁野小学校」に決定したものです。

次に、禁野小の校章についてですが、まず（両校の）教職員でデザインを作成したものです。このマークとなった由来については、まずこの「K」の文字につきましては、禁野小の禁の「K」、高陵小の高の「K」、中宮北小の北の「K」からきておまして、また、希望のという字の「K」をイメージしております。色は「あおぞら」、2本のラインは「天の川」の流れをイメージし、この2本のラインが高陵小と中宮北小を表し、二つの流れが一緒になって禁野小の「K」につながっていくようなイメージとなっております。

次に禁野小の校歌についてですが、歌詞については専門的見地も必要と考え、全国公募をしまして、計66件の応募をいただきました。作曲者の方、学校長の2名に評価員をお願いし、現在、応募歌詞の中から選定作業を進めているところです。

今後、評価員よりいただいたご意見を参考にし、教育委員会で校歌の歌詞を決定し、作曲につきましては、枚方市在住の作曲家であり、大阪音楽大学・同大短期大学部作曲講師の酒井 格（さかい いたる）氏に依頼いたします。新しい校歌のお披露目の機会については、今後、教育委員会内で調整し、お知らせさせていただきます。

次に、今後のスケジュールについて、5ページをご覧ください、

まず、令和4年2月9日の水曜日に中宮北小学校で、禁野小学校入学説明会がございます。

令和4年度に禁野小入学予定のお子さんの保護者の方には、こちらにご参加いただきますようお願いいたします。

次に、2段目ですが、中宮北小学校の仮設校舎増築工事と、西門（いわゆる）通用門改修工事、そして高陵小から現・中宮北小学校への物品等引越作業などを令和4年3月末までに行い、3段目、令和4年4月に、現在の中宮北小校舎を使用して禁野小学校が開校いたします。

4段目ですが、高陵小学校におきまして、令和4年の中頃から校舎解体工事や文化財調査を経て、新校舎建築などを行いまして、令和8年度内を目途に児童の皆さんに新校舎へ移転していただく予定です。

次に、子どもたちの交流について、7ページをご覧ください。

学校統合における児童の不安を取り除くため、高陵小学校、中宮北小学校の両校で、児童の交流活動に取り組んでいただいております。まず1つ目の10月の合同校外学習ですが、2年生はキッズプラザ大阪、4年生は琵琶湖博物館、5年生はコマツ大阪工場、3年生は枚方市内めぐり、1年生は京都水族館を行先として、合同での校外学習を行いました。事前に、

児童の自己紹介を録画したビデオを交換し合い、互いの児童の映像と音声を見ることで親近感が増したとのことでした。

次に、図画工作の交換では、お互いの学校の1年生から6年生までの作品を交換し合い、校内に掲示しました。

3つ目の交流ですが、言葉を交わしながら助け合い、多くの友だちを作る取組みとして両校支援学級合同での芋掘りを実施しました。当日は大きなさつまいもがたくさんとれ、楽しく交流することができたとのことでした。

これらの児童交流につきましては、この資料の説明の後、交流の様子を映像で見たいと思いますので、よろしく願いいたします。

続きまして、「令和4年度からの禁野小学校における通学路について」の説明をさせていただきます。

次に通学路の検討について9ページをご覧ください。

令和4年度からの禁野小学校における通学路につきましては、新しい学校づくり協議会のワーキングチームを中心に協議を行ってきました。

その中で「通学時における距離や所要時間」、「通学路における児童の安全性」、「通学路における危険個所の確認」、を重要な点として、実際に通学路を歩くことで安全性について確認を行いました。

次に、10ページをご覧ください。

保護者アンケートの実施についてですが、新しい学校づくり協議会のご意見を参考に、アンケートを5月下旬に実施しました。

アンケートでいただいた主な意見としましては、関西外大御殿山キャンパス前について、「道路が直線でスピードが出やすい」、「横断歩道が少し心配」といったご意見がありました。

保健センター西側の万代前あたりまでの道について、「西禁野から登ってくる道は、歩道がなく狭い上にガードレールもない、また 急カーブもあり見通しも悪い」、「自動車や自転車がスピードを出して降りてくるので危険」といったご意見をいただいております。

保健センター西側の万代前あたりの道は、現在、通学路として使用しておりませんが、この道路について協議いたしましたが、通学路としては課題が多いと判断しまして、通い慣れた既存の通学路を基本として、新たな通学路として使用したいと考えております。

次に、通学路の安全対策について、11ページをご覧ください。

通学路における道路標記の確認を行い、薄くなっているところなどを交通対策課等へ依頼し修繕を行いました。右側にビフォア・アフターの写真を掲載しております。この写真は、いわゆる高陵小の坂下の箇所ですが、このほかにも、中宮北小学校の正門前の横断歩道や、関西外大御殿山キャンパス前の横断歩道について補修を行っております。

次に「危険個所の改善」ですが、道路標記の確認を行った際に、見通しが悪い場所等も交通対策課へ報告を行いました。

また、右側に三種類の黄色い電柱幕の例を挙げております「学童多し注意」「スピードお

とせ「横断者優先」、については、交通対策課へ提供依頼を行いまして、効果的に設置したいと考えております。

次に「新たな通学路に対する安全対策」ですが、小学校及び地域との連携として、禁野小学校の通学路を設定するにあたり、小学校の教職員やP T Aの保護者の皆様、平素から児童の見守り等にご尽力いただいている地域の皆様方と連携し、禁野小学校に児童が安全に通うことができるよう取り組んでいく考えです。

次に、庁内関係課及び警察との連携については、右側の地図の中の破線内にある横断歩道の3か所と、道路標記が薄くなっていましたので、交通対策課や警察に依頼を行っております。また、こちらの道路にも黄色い電柱幕を設置し注意喚起を行いたいと考えています。そして関西外大前の横断歩道の信号につきまして、登下校時間帯の青色信号の長さについて、時間調査等を交通対策課や警察と連携して行い、対策を検討したいと考えております。

次に、関西外国語大学との連携については、関西外大 御殿山キャンパス前の横断歩道は、現在も中宮北小学校の児童が横断していますが、来年4月からは現・高陵小学校の全児童もここを横断することとなり、児童が多くなります。横断歩道で児童が滞留してしまった際の対策として、関西外国語大学と相談・連携してまいります。

次に、令和4年度からの学校生活等についてで、13ページをご覧ください。

先ほどスケジュールでもお伝えしましたが、現在、中宮北小学校の東側に4教室、西側に2教室の仮設校舎の増築工事を行っています。

今後、教室の配置等につきまして、学校と検討してまいります。

また、統合後の児童の約9割は、登下校の際、西門（現在の通用門）を利用することから、安全対策のためオートロックの設置等、西門の改修工事を1月から実施予定としております。

次に、禁野小学校における「新しい学校づくり」について14ページをご覧ください。

この「新しい学校づくり」は、令和3年6月に教育委員会で策定した「枚方市のめざす学校像」を指針として、高陵小学校と中宮北小学校を統合して誕生する禁野小学校において、特色ある教育の取り組みと、それを実現するための環境整備にかかる概要を示すもので、令和8年度に高陵小学校敷地で開校する新校舎のコンセプトとなるものです。

これは、令和3年8月に文部科学省が示しました「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（中間報告）を踏まえて作成しております。

「誰ひとり取り残さない」世界の実現をめざすSDG sの持続可能な達成目標を掲げ、未来に向かう新しい学校づくりをテーマに推進していきます。

今後、これまでの高陵小学校、中宮北小学校両校での学びをさらに発展させ、児童の心身の健やかな成長のため、4項目、1. 一人ひとりの子どもを大切に、志を育む学校づくり、2. 枚方版「ニュー・スマート・スクール」の推進、3. 子どもの夢を育てる豊かな学校づくり、4. 地域とともにある学校づくり、を基本的な方向性として、具体的な取り組みについての検討を進めていきます。

続いて 15 ページをご覧ください

禁野小学校における「新しい学校づくり」に記載しております、具体的な整備案について例を挙げますと、多目的な活用ができるオープンスペースの設置や、エレベーター、バリアフリートイレ、シャワー室の設置等、バリアフリーな環境整備。教育環境の向上のため、体育館にエアコンを設置すること、ICTを活用した様々な取り組みを可能とする教室の整備、効果的に木材を利用することで温かみのある生活空間を整備すること、太陽光発電や建物断熱を整備することで、学校でのエネルギー使用をゼロにすることを狙った施設整備などを挙げています。

また、今後、市立小学校の水泳授業において、民間活力の活用を進める観点から、新しい学校「禁野小学校」にはプールは設置しない考えであることを記載しております。

以上、禁野小学校における「新しい学校づくり」の資料説明となります。

《質疑回答》

(意見 1)

質問が 2 点あります。1 点は新しい学校にはプールがないという説明がありましたが、体育でのプール授業がどのように実施されていくのかを教えてください。2 点目は新しくできる学校に関しての図書室の活用について、学校司書の方は常駐されるのでしょうか。

(回答 1)

1 点目の学校プールに関しまして、枚方市では水泳学習について民間活力を導入しながら効果的という事で、今方向性を決めているところです。保護者の皆様にも詳しくご提示していきたいと思うのですが、禁野小学校は水泳授業を自校で民間スタッフの指導を受けながら実施する方向で考えています。また、来年度は、モデル的に数校が民間活力を利用した水泳学習として、児童と教員がスイミングスクールに行き、教員が評価指導することを実施します。実際の泳ぎの指導については専門のスタッフにお願いする形となります。こういった形で今後、枚方市のすべての学校で実施できるよう検証しながら実施していきます。今は具体的な各校の個別のやり方については検討しているところですが、また市民の皆様にお示ししていきたいと考えております。2 点目の学校司書ですが、今、高陵小学校と中宮北小学校を兼任として一人配置しております。学校司書につきましても来年度以降の配置は具体的にどの学校に設置するのかを検討していると聞いております。禁野小学校につきましては、継続して配置していただくよう要望しております。今年初めて小学校にテストケースとして学校司書を配置しており、来年度の配置状況については検討中です。

(意見 2)

一点目は現在の各小学校の各学年のクラス数とクラスの人数が来年度にはどうなるの

かと、来年度のクラス替えは二校の児童を混合としたクラス替えになるのか、それとも別々のクラスとするのかを教えてください。

(回答2)

進級するにあたって現在の状況では各学年2クラスになることは把握しております。ただし、子供達の転校や転入転出といったことがありますので、それによってクラス数等が変わってくるため、4月以降もどのようなようになるかは注視していきます。クラス替えは学級編成といいますが、既に各両校で打ち合わせ作業やスケジュールを考えていただいています。両校の子どもたちが割と今までも近い関係にあったが、既存の学校現場の中では一人一人の子どもがどういう関係性にあるのかという事も考えながら学級編成を行います。同じように二校の子どもたちが一つのクラスを構成するわけですが、子供たちの個性や関係性を大事にし、また現在の学校での関係性も考慮しながら両校の先生方に考えていただくようにします。

(意見3)

プールについてお伺いします。民間のプールを使うという事は、学校からどこかのプールかスクールに連れて行っていただけという事でしょうか。そうすると授業時間は2時間連続して確保していると思いますが、着替えの時間や民間に行くための時間がかかると思われるのでプールの時間の確保と授業時間の確保の関係はどのように考えておられるのでしょうか。民間の先生が一斉に指導をしていただけるのは助かると思いますが、支援学級に在籍している児童の中には運動が苦手だったり、プールそのものがいやだったりという児童がいると思います。うちの子もプールがいやで、プールから脱走したりとかプールサイドで泣いたりという事を何度も繰り返していたのですが、民間の先生が一斉指導をしている中でそのような児童がいた場合に、学校の先生も一緒に行っているとは思いますが、学校のプールみたいに臨機応変にプールの端で泳ぐ練習をするなどを先生が個別に声をかけて、皆と違うことをするといった対応が民間のプールのスクールでやっていただくことが可能なのか、今後学校運営を考えていただく上で、民間を使うのであれば、プールがいやで学校に行きたくないとなってしまうと、せっかく民間を活用したという事が全然生かされませんし、プールに行くのがいやですぬられて学校に残りたいとなったときに、残った児童は誰が見るのか、学校で留守番をしている間は補助でついてももらえるのか、そういったことが学校にプールが無いことで気になっています。また、民間のプールを使った場合に時間の確保がどのくらいできるのかはわかりませんが、中学に進学したときに、殿一小や小倉小のも一緒になって枚方一中になっていると思いますが、禁野小学校だけ民間のプールを利用して授業時間が少なくなり泳げる児童が少ないとか、泳力に差がついて中学校で先生が指導するときに何か困る事が起きないかも心配です。中学校の先生のお話では小学校でどのようなことを行ってきたのか等の引継ぎをされており小中の連携は取れていると思いますが、他の小学校のプール授業は自

校で行って、禁野小学校だけが民間のプールを利用することで、様々な所で差がついてしまっていて、中学校に進学した際に子どもたちが困るのではないのかなと心配していますので、そのあたりも考慮して小中連携の上でこの小学校をいいものに持って行ってもらえたらと思います。次に通学についてですが、いきなり4月から新班長が新しい道の横断歩道を渡って新1年生がいる班を連れて行かないといけないという状況になってしまうのは親として不安が残ります。例年であれば6年生は卒業するので3月に新班長と新副班長が、6年生が卒業するまでの1週間で登校訓練を行っていますが、新しい学校なので当然登校訓練はできないこととなります。そのような状態でいきなり4月の始業式から新しい学校に1年生も連れての登校は、さすがに親として不安が残りますので、来年度の班長と副班長に向けての交通ルールや新しい通学ルートの指導などを行って、4月になって混乱が起きない状態で始業式を迎えられるようにしてほしいです。通常学級に通う子どもと親も不安だと思いますが、支援学級に通う子どもには環境が大きく変わると感じるので、親も含めてとても不安に思っているの、何か解消できる手立てを考えてほしいと思います。また先生の配置についてですが、支援学級には支援コーディネーターの先生が必ずいらっしゃると思うのですが、現在の支援コーディネーターの先生が禁野小学校の支援コーディネーターの先生として配置していただくなどの手立てを考えてほしいです。今の4年生と5年生はすぐに中学校に上がり、また環境が変わってしまいます。先生が変わって、学校が変わって、また環境が変わるといのは負担が大きすぎるかと思うので、支援学級のお母さんにヒアリングを行うや、中学校との連携を強化するなどを行っていただいて、誰もが不安なく小学校で過ごして中学校に上られるような環境を、この新しい小学校で目指していただけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(回答3)

プールの指導について、もちろん水泳授業が苦手な子どもや嫌いな子どもがいます。その時にプールに入れない子どもについては教員が必ず付いて一緒に合流し授業を受けることができれば一番良いのですが、出来ない場合は個別に対応するという事もおそらく高陵小学校でも行っていると思います。プールの民間利用は来年度からなのか、その次年度からなのかは未定ですが、新しい禁野小学校はバスで10分程度の範囲にスイミングスクールが3か所ございますので、民間施設を利用する方向で考えております。実際に水泳授業が嫌で学校に残った場合でも、スイミングスクールに行って個別指導が必要な場合でも複数人の教員がいますので、行けない子や個別指導が必要な子どもも対応できると考えております。また、泳力に応じて指導すると聞いておりますので、泳げない子、泳げる子、泳ぎが得意な子というように分かれて指導させていただくことになるのかと思います。令和4年度から民間での水泳授業の試行とし、どのような課題があるのか、どのような効果があったのかを見極めながら、令和5年度以降も民間活用につなげていきますので、色々なご意見をいただきたいと思っております。次に通学路に関しましては、高陵小学校の子どもたちが、高陵小学校の通用門まで上がってくるところまではこれ

までどおりになります。そこから先は横断歩道を渡って現中宮北小学校に通うという形になりますので、その安全確認はしっかりと教育委員会と学校で取り組んでいきたいと考えております。来年度の班長さんにつきまして、先ほどのお話にありましたように少ない班では4年生ぐらいから班長をお願いしないといけないということもありますので、子どもたちが不安の無いように事前指導を含めて対応できたらと考えております。支援学級の学級編成と教員の配置についてですが、すべての教員がすべて禁野小学校に行くというのは配置人数的にも残念ながらございません。しかし、どの教員がどの小学校に行く必要があるのかは、教育委員会で毎年考えながら、教員の在校年数を含めて異動について考えております。支援教育コーディネーターにつきましても、必ず学校に1名配置することとなっておりますので、中学校区との連携や校内の支援学級とコーディネーターとの連携を含めて取り組んでいくことになるかと思えます。私の経験になりますが、具体的には支援学級に在籍の保護者様と懇談等を通じてお話をしていくこととなるかと思えます。保護者の皆様と子どもたちの不安の無いように今後も取り組んでいきたいと考えております。

(意見4)

一番懸念しているのはクラスがどうなるのかで、今まで知らなかったことも達と一緒に楽しくできるのかというのが親として一番心配しているところです。何を心配しているのかというのは、高陵小と中宮北小でグループ分けなどができてしまい、その中でいじめが発生しないかが一番心配なところです。高陵小学校のクラス編成はわかりますが中宮北小学校のことが分からないため、クラス編成に対する具体的な説明はいつしてもらえるのでしょうか。先ほどもありましたが、先生が変わったりすることについても教えていただきたい。子どもたちも知っている先生がいるのといないのでは全然違うと思いますので早めに教えていただきたい。子どもたちも教員も大変だと思いますが、そのあたりのメンタル的なケアは誰がするのですか。もし、いじめが発生した場合についても、どのように対応されるのですか。高陵小学校は少人数であり、いじめが比較的発生しにくいと考え、わざわざ引っ越しをしてこの小学校に入学しています。場合によっては転校も視野に入れていきます。

(回答4)

ご意見をいただきましたことにつきまして、二校の子どもたちが禁野小学校という一つの学校で長時間学校生活を送りますので、もちろん、どの子に対してもケアは必要だと考えております。二校の子どもたちがそれぞれグループに分かれて、しばらくは二つのグループができてしまうのではないかと心配されている気持ちは私たちも想定し、そのようにならないためにはどうしたらよいのかという事も、事前に、また今も考えながら来年度からの学級編成をどうしていくのか、また担任をどうするのかを子供たちの様子を見ながら考えていく必要があると思っております。では具体的にいつ学級編成が分かるの

かというのは、今までと全く同じで4月の始業式で学級発表をされます。担任についてもこの時に発表されます。これにつきましては新設校であっても変わりはありません。ただし、それまでの過程でどの教員をどこの担任にするのかということ、今回は二校の子どもたちが一緒になるので、この学級の担任には誰がいいのかということも考えて編成をすることとなります。また、少人数の良さをおっしゃっていただいて、これまでも保護者の皆様のご意見をいただきながらご議論させていただいたところですが、学校統合で大阪府から加配教員が配置され、今は中宮北小学校の方に配置されています。これについては継続していくように大阪府には働きかけていますし、実際に担任外の所もこれまで以上に大事になってくると思っております。第一中学校区は4校の小学校が一つの中学校となりますので、第一中学校の先生方には子どもたちの様子を見ていただきながらコロナ禍でも取り組んでいただきました。今回も子どもたちにとって友達関係が一気に倍になる事については、先生方には苦勞を掛けますが、授業だけではなくしっかりと日頃の生活の様子も見ていただくようにしていかなければならないと思っておりますし、また、先生方のフォローは教育委員会の方でしていかなければならないと考えています。学級編成や担任の発表は事前に行うことはありませんがよろしく申し上げます。

(意見5)

小学校の通学路についての質問です。来年度から入学する子どもがいるのですが、現段階では通学路は決まっていないと先生から聞いております。来年の2月9日に入学説明会が行われる際に、通学路の説明を行う予定でしょうか。

(回答5)

通学路につきましては新しい学校づくり協議会において現在協議中ですが、2月9日にはご説明ができるように考えております。

(意見6)

上の子どもは新しい校舎に通うことなく卒業することになります。新しい学校は素敵な学校になると思うのですが、現中宮北小学校は4年間だけの使用となっているため予算が配当されず、少し汚い環境とか少し危険という事があっても、あと4年だけだからと考えず、まだ4年あって子どもたちの学校生活は続いていることを考えてほしいと思います。

(回答6)

禁野小学校における新しい学校づくりの説明にありましたが、この中には校舎の整備などハード面に関する事とソフト面で今から取り組む交流事業や4月から取り組む環境づくりなどのソフト面があり、特に子どもたちの教育環境や安全については、子どもたちが不安の無いようにと考えています。今の2年生以上の子どもたちは卒業まで現中宮北小学校で過ごすこととなります。教育委員会は子どもたちの教育を進める立場にあります

すのでしっかりと市と協議を行い、また教育環境の理由で学校に行きたくないなどと子どもたちに思わせてはいけないと考えております。

(意見7)

中宮北小に設置される仮設校舎はどのようなものなのですか。エアコン等も設置されているのでしょうか。

(回答7)

仮設校舎は平屋建てで6教室となります。外見はプレハブで軽量鉄骨造りとなりますが、教室内の環境についてはエアコンも設置しますし普通校舎の教室と変わりなく使用できると考えております。

(意見8)

工事の期間が約4年間あると思いますが、工事の際には大きなトラック等の走行が増えると思いますので、通学の時間帯や正門から出入るのであれば幼稚園があるのでお迎え時間を避けることも考えてほしい。また、正門の前の道路については道路幅が狭く園児が飛び出したりすることもあります。今後工事の内容やスケジュールについての説明会を行う予定はありますか。

(回答8)

来年度予算で設計等を発注していきます。その中で工事の手法や安全対策を検討していくこととなります。校舎の解体工事を来年度の秋ぐらいから開始し、その後は文化財の調査等を行い新校舎の施工は2年程度の期間が必要だと思っております。当然のことながら工事に関するスケジュールや安全対策などについて皆様にご説明をさせていただいた上で工事等を着手していきたいと考えております。

(意見9)

クラス編成で各学年が2クラスになるのか3クラスになるのかが分からないため6教室を仮設校舎で設置しているのですか。

(回答9)

子どもたちが学校生活を送る各クラスは、今ある校舎に入るように配置を考えております。それ以外の特別教室や留守家庭児童会室、地域で使っていただく教室等を仮設校舎にと調整しております。子どもたちのクラスが2クラスから3クラスに増えても職員室等への動線が悪くならないよう、可能な限り既存校舎に配置したいと考えています。

(意見10)

子どもが1年生で留守家庭児童会室に通っています。高陵小も中宮北小にも2グルー

プあると聞いたのですが、児童が増えた際の留守家庭児童会室でのグループや教室の割り振りや先生の配置について教えていただきたい。

(回答 10)

禁野小学校の留守家庭児童会室は現在募集を受けて調整しているところです。現在の中宮北小学校での留守家庭児童会室はグラウンド東側にある1教室で行っています。調整はこれからですが隣に設置している仮設校舎4教室中の3教室を新たに留守家庭児童会室として配置できるように準備をしております。留守家庭児童会室の指導員や担当につきましては、放課後子ども課で調整しているところだと思っておりますが、担当する指導員の配置は変わってくると思いますので、担当課の方から申し込みをいただいている保護者様にはご連絡があるのかなと思っております。

《終了 11:25》